

巻頭言 / そこが知りたい

## 『ロングテールの法則』菅谷 義博氏からのビッグサプライズ

11月21日開催のFDJ社インターネット戦略セミナーには、80対20の法則を覆す『ロングテールの法則』著者 / 菅谷 義博氏を招聘。菅谷さんからは、1月発売の次回作“ロングテール戦略”に盛り込まれるハイライトが先取りで紹介され、ビッグサプライズでした。

菅谷氏による、今から10年後の「2016年のビジネスはどうなるのか」その要旨を紹介させて頂くことにいたしましょう。以下、今後のビジネスシーンについての要旨です。

次回作で展開しているビジネスシーンは、ブロードバンド時代それも大容量化が進んで行く中で、インターネットが動画メインになってくることだ。

皆様がお案内のように、これまでのコンテンツはテキストが中心だった。それが今は、YouTubeの成功に代表されるように、動画がメインになる時代が始まろうとしている。YouTubeは2005年設立の会社なのに、たった1年半でGoogleが2,000億円で買収！

2016年のビジネスシーンを展望する上で、ポイントになるのは中小企業もCMを作る時代になってくることでしょう。

これまでは、テレビCMと言えば非常に高いものだったが、ネット広告は、高くても数百万円。それが、YouTubeではなんと無料！

そうした動画時代では、訴求内容も変わってきて、例えば「面白い、楽しそう、美味そう」というような表現（タグの付与）で、これまでのネットでは売りにくかったものが、売れるようになってくる。

米国の とある街のレストランの例では、人目を引く印象に残るユニークな動画プレゼンテーションによって、今では観光名所に！

ブロードバンド時代に移行していくスペックには著しい進化があり、10年前の通信スピードが28.8Kだったものが、現在はその数千倍。それが2016年頃には、数百ギガという単位になってきて、コミュニケーションもハイビジョンのレベルで地球の裏側と結ばれ、テレビ電話などもまったくのストレスなしで使われるようになってくるでしょう。

そうした中で、メディアのコングロマリット化やSNSの普及も急速に進展してきますから、新しい動向には絶えず注意しておいて下さい。

現実の話としては、ここ数年の広告市場では大手8割という状況が続いている中で、中小でも広告ができる新しい動画時代が始まったということは、広告の世界でも中小（不動産業）が蘇る『ロングテールの法則』がやはり生きてくるということではないのでしょうか。

ところで、菅谷さんの講演には、もう1つサプライズがありました。

本題の『ロングテールの法則』、「検索エンジン連動型広告とキーワード選択のROI = 投資回収率」にふれた部分の中で、その道に慣れた人ほど、陥りやすいキーワード選択の間違った例として「キャリアアップ」「採用」「求人」「転職」のアクセス数の比較が紹介されたのでした。

皆様は、どのキーワードが人気だったと思われませんか。